ふるやまさお

山梨県議会議員

古屋雅夫 県政だより

人☺街☺元気!!
地域が主役・元気な街づくり
http://furuya-masao.net
@z4KGpKCe97FXbbf
（12月定例議会報告）

県民の安心・安全の取り組みは何よりも最優先！

公約・「豊かさ」を実感できる具体的な取り組みがスタート

明けましておめでとうございます。

長崎知事の県政運営いよいよ2年目、具体化の年へ！

平成31年4月2日に長崎知事は県職員を前にし「**前例がなければ前例となれ！**」との訓示の一言。前例踏襲行政の中にあって、まさに画期的な発言であり、多様な価値観があり、多様な生活様式が混在する激動の今、前例踏襲型の古い体質から脱皮し「**新しい手段、新しい手法による、新しい山梨**」の創出に向け、私達県民はこの発言に大いなる期待を膨らませている。**令和新時代！**山梨県はどのような自治体へと脱皮できるのか全県民が、固唾を飲んで長崎県政の舵取りに注目していることは間違いない。こうした県政運営に対する政治姿勢を評価しつつ、一方では「**山梨の未来**」に向けた投資、個々の事業等、「税」の使い方など県民目線に立ち、しっかりチェック機能を発揮、議員の役割を果たしてまいります。本号では、今後、具体化を目指す主な事業課題の現状等について報告いたします。

山梨県議会議員　古屋雅夫（ふるやまさお）

峡東地域広域防災訓練 令和元年12月4日

災害対策　台風19号被害による大型公共事業補正予算が可決

令和元年12月定例議会における一般会計の補正予算約81億円余のうち、先の台風19号の被害による施設の復旧に関わる公共事業費等は約76億8,100万円余となりました。この台風で「すり鉢状の県土の災害に対するもろさを改めて認識しました。また、交通途絶（中央高速道、国道20号線、ＪＲ中央線等）で観光産業等も大きなダメージを受けた。今後、県土の強靭化をさらに進め、**県民が安心・安全に暮らせる生活環境を最優先していきます。**

公共事業の内訳

- ▼ 小規模治山災害復旧費…… 20,497千円
- ▼ 林道災害復旧費 …… 656,876千円
- ▼ 県営林道維持修繕費…… 89,763千円
- ▼ 耕地災害復旧費 …… 443,000千円
- ▼ 土木施設災害費 …… 5,488,240千円
- ▼ 県単独土木施設災害復旧費 … 983,066千円

安心・安全　「自転車の保険」加入の条例制定に向け政策提言

令和元年9月定例会「リベラルやまなし」代表質問

交通事故のうち自転車が関係する事故の割合が増加傾向である。県では自転車の安全適正利用に向けた条例制定に向け検討されているが、万が一、事故になった場合、被害者や加害者の負担を最低限に食い止めるため、損害賠償義務を果たせる保険への加入促進を図ることが重要であり、その条例制定を行い県民の安心・安全の確保を力強く推進していく必要があります。

（県）①全事故に占める自転車関与の割合が増加傾向（400件～ 500件台で推移）、②若者の自転車保険の加入率が低い（中学生23%、高校生39%）、③外国人観光客が増加傾向にありレンタルサイクル利用増加が見込まれる、④自転車活用促進計画が策定されている、さらに22都道府県で条例制定済等から年度内（令和元年度）に自転車の安全適正利用の促進と、自転車損害賠償責任保険の加入促進を図るための、条例案の施工を目指すことの見解が示された。

産業の振興　医療器関連産業分野の振興に期待！<静岡県と連携協定へ>

令和元年12月定例会「リベラルやまなし」代表質問

知事は「メディカルディバイス・コリドー構想を掲げ、医療機器関連産業は、これから大きく成長が期待される産業分野であり、本県の産業振興にとって可能性を秘めた分野であることから、その先進地、全国一位の生産額（約3,512億円）を誇る静岡県と連携協定を結び、県域を超えたスケールメリットや、両県それぞれの強みを生かした相乗効果が大いに期待できる。今後その実現に向け取り組みを加速させていく」としている。この知事発言に先立ち、所属する会派「リベラルやまなし」では昨年８月、静岡県のガンセンター等、医療機器関連産業の一大集積地の現状状況を視察し、政策提起してきました。

スポーツ振興　総合球技場の建設、運営費の赤字対策が課題！

11月30日に2020年の五輪・パラリンピックのメインスタジアムとなる新国立競技場が完成した。（整備費約1569億円）その翌日、地元紙は山梨県の「総合球技場見直し前途多難」との見出しで報じた。▼この総合球技場は小瀬スポーツ公園第三駐車場等を含め約57,000㎡に建設目指す検討委員会の報告が示された。▼建設費は110億～120億を想定。財源はスポーツ振興くじ（toto）、助成金、社会資本整備総合交付金、寄付金制度等の活用。▼維持管理費用が130～140百万円/年想定される。▼その結果、県の財政負担50～80百万円/年と想定。▼今後、知事はこうした運営課題等について懇話会設置し検討することとしている。▲2027年リニア新幹線の開業なども意識し、山梨県にとっての経済効果（スポーツビジネス等）、そして財政的負担の克服など、県民の利益に繋がる検討が続く。

イメージパース

観光 「ワイン県宣言」で国中エリアへの観光客の周遊を目指す

昨年８月７日、**山梨県は「ワイン県」**であることを宣言した。

山梨県の地域の良さを知っていただくきっかけに乏しいという課題の中で、山梨県の特徴を端的に表現するキーフレーズにより、全国そして本県を強く印象づける狙いとして「ワイン県宣言」をした。また、山梨市出身の作家　林真理子氏、日本のソムリエ協会長の田崎真也氏をワイン県副知事に任命し、世界農業遺産の登録と合わせて富士山エリアに集中する観光客を、**国中エリアへの周遊を促していきたい**。知事は12月定例会で広域地域の連携が重要性と、ワイン県宣言を期に**「ナイトタイムエコノミー」**（夜間経済）の推進に取り組むとしている。

教育 小人数教育の推進を目指す

県教委では、小人数教育の推進を図るため、「小人数教育推進検討委員会」を設置し、論議を重ねています。▼6月には学校長を対象としたアンケート調査をもとに、現行の少人数学級編成についての成果の検証を行った結果、きめ細かな指導が可能となり、基礎学力の向上や良好な人間関係づくりに一定の効果があると認められた。▼さらに少人数学級の推進は学習面、情緒面で効果が期待できることなどから、検討委員会は25人を基本とする少人数教育の推進方針を本年度中に決定し、具体化に取り組むこととしている。

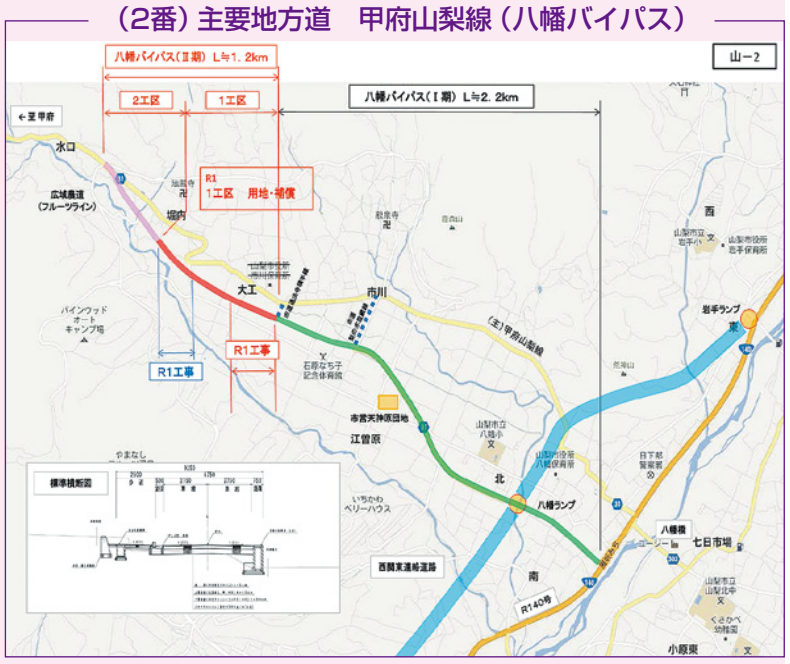
2019年度山梨市における県の道路等の整備事業

R1 山梨市（峡東建設事務所）道路事業箇所表

山梨市

			R１年度事業内容（H30n未契約含む）				全体計画			
番号	路線名	場所	工種	内容	R1事業費（百万円）	新・継	事業概要	期間	事業費（百万円）	R1年度未進捗（予定）
1	国道140号	道の駅 まきおか・みとみ	工事	防災拠点化	55	継	道の駅防災拠点化　1式	H29~R1	100	100%
2	(主)甲府山梨線	山梨市大工～堀内	用地・工事	用地補償、道路改良	190	継	道路改良 L=1,200m(八幡バイパスⅡ期)	H25~R2	500	54%
3	(一)三日市場南線	山梨市小原西	工事	交差点改良	15	継	交差点改良　1箇所	H16~R1	850	100%
4	(一)市之蔵山梨線	山梨市鴨居寺～上石森	用地・工事	用地補償、道路改良	390	継	道路改良　L=900m	H26~R3	700	60%
5	(一)柳平塩山線	山梨市牧丘町杣口	用地・工事	用地補償、道路改良	180	継	道路改良　L=1,000m	H25~R3	250	88%
6	(一)塩平窪平線	山梨市牧丘町西保下工区(北井～法喰庵)	用地・工事	用地補償、道路改良	115	継	道路改良　L=540m	H23~R1	1,030	59%
7	(一)塩平窪平線	山梨市牧丘町西保中工区	用地	用地補償		継	道路改良　L=470m	H23~R3		
8	国道140号	山梨市三富～山梨市北	工事	鶏冠山大橋耐震補強	150	継	石楠花橋外26橋	H20~R3	1,800	92%
9	(一)休息山梨線	甲州市勝沼町山（清水橋）	用地・工事	用地補償、橋梁上部工	404	継	道路改良　L=600m	H23~R4	850	35%
10	国道140号	山梨市三富～山梨市北	工事	西沢大橋耐震補強	100	継	石楠花橋外26橋	H27~R3	1,500	37%
11	国道140号	山梨市三富川浦	設計・工事	道路詳細、道路改良	115	継	道路改良　L=400m	H30~R4	200	85%
	合計				1,714					

（2番）主要地方道　甲府山梨線（八幡バイパス）



（3番）三日市場南線（山梨癒便局北交差点）改良事業

（6番）塩平窪平線道路改良事業（牧丘町西保下・北井）

三富・徳和・不動沢の砂防事業（令和2年度完成予定）

古屋まさお県議の主な地域の取り組み

モモのせん孔細菌病発生対策

「モモせん孔細菌病」対策を私たち、峡東地区選出の県議は一早く行動を起こし、９月定例議会において防除対策等に対する助成金は、県と市町で費用の３分の２負担（山梨市では県、市で5,060万円余）。県の補正予算額は１億4,220万円余となり、各地域で一斉防除が始まった。

農政産業観光委員会（9月定例会）▶

JR中央線の「山梨市」「石和温泉」「塩山」駅に停車本数4本が復活

令和2年3月のダイヤ改正で特急電車（あずさ）の停車回数を復活させる

上り【山梨市駅発 10:30 あずさ16号】
【山梨市駅発 17:12 あずさ44号】
下り【新宿駅発　7:30 あずさ ３号】
【新宿駅発　21:00 あずさ35号】

R元年5.16　ＪＲ東日本(株)に陳情

▶２年連続の**「気象災害」**で日本列島は各地で甚大な被害！本県においても交通遮断で人流、物流が止まった。観光産業は２次災害！本県特有な地形・地質を踏まえた、災害への**強靭化対策**がさらに必要、また**世界の温暖化に対する危機感**が強まっている、▶市議時代から取り組んできた、**「25人学級の実現」**に期待する。▶県のアンケート調査では、若年層の**「豊かさ」**感の大半は収入、どう応えていくのか？ ▶令和2年夏、東京五輪、パラリンピックが開催。これを期に日本列島が「元気」になって欲しい！政府の実感できる**「景気対策」**に県民は期待している。

古屋雅夫（ふるやまさお）

- 農政産業観光常任委員会
- 北富士演習場対策協議会　理事
- インバウンド観光政策委員会　副委員長

【所属議員連盟】

- 中央リニア新幹線建設促進議員連盟
- 中部横断自動車道路建設議員連盟
- 中央線高速化促進議員連盟
- 山梨活性化促進議員連盟
- 富士山保全促進議員連盟
- 北朝鮮に拉致された日本人を救出する議員連盟 等

２月定例議会で代表質問に立ちます